



こうざき

議会だより



発行・神崎町議会 編集・議会広報編集特別委員会 ☎289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163 ☎0478(72)2115



☆祝入学☆



米沢小学校



神崎小学校

第1回定例会・・・・・・・・・・P2
総括質問・・・・・・・・・・P5

一般質問・・・・・・・・・・P8
議会の動きなど・・・・・・・・P10

第1回定例会

平成30年度予算を可決

庁舎及び町民体育館耐震補強事業、移住・定住者支援事業など
一般会計24億9800万円 対前年度比1.1%の増



議会の様子

平成30年第1回定例会は、3月7日から16日までの10日間開かれ、特別職の給与の特例に関する条例の改正、補正予算、平成30年度各会計予算などの議案が審議され、全議案が原案のとおり可決されました。また、受動喫煙に係る陳情2件が提出されましたが、不採択となりました。
一般質問は2名の議員が行い、町政全般について活発な議論が交わされました。

議案等の概要

◎町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部改正

特別職の給与を減額する措置を、引き続き平成31年3月31日まで、1年間延長す

るため、特例条例の一部を改正するものです。今回の減額措置に伴う影響額は、約760万円です。

◎神崎町個人情報保護条例の一部改正

法改正に基づき、関係する条例について所要な改正を行うもので、個人情報保護の定義の明確化及び配慮の必要な個人情報保護の定義を明確化し、収集と取扱についての配慮を加える改正を行うものです。

◎神崎町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

昨年開始されたプラマークの分別収集により、家庭から搬出される可燃ごみ袋が減り、既存の可燃ごみ袋の大きさは容量が余ってしまふという住民からの要望により、小さいサイズの可燃ごみ袋を作製するための改正です。

◎神崎町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険制度の見直しに伴い、平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体になるため、県と市町村の担う部分を整理するため、字句の表現を改正される国民健康保険法に合わせて、一部改正をするものです。

◎神崎町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

国保制度の見直しにより、条例中の別表の「国民健康保険運営協議会委員」を「国民健康保険事業の運営に関する協議会委員」に名称変更するものです。

◎神崎町介護保険条例の一部改正

法令等により、市町村は3年を1期とする介護保険事業計画を策定し、介護給付費等対象サービス及び地域支援事業に要する量を見込む事とされており、その事業に要する費用に充てるため保険料を徴収することとなっており、第7期となる平成30年度から平成32年度

までの3年間の介護給付額を見込んだ結果、介護保険料基準額を現行年額5万1600円から年額5万4千円に改正するものであります。

◎神崎町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、平成30年4月1日から住所特例の事務の取扱いについては、現に国民健康保険の住所特例を受けている者が、75歳到達時に広域連合の被保険者となる場合には、前住所地の市町村が加入する広域連合が保険者となるよう改正されるものであり、これに合わせて本町の条例の一部改正をするものです。

◎平成29年度神崎町一般会計補正予算(第5号)

既定予算に、8450万円を追加し、総額を26億4690万円とするものです。主な内容は、財政調整基金積立金に1億8141万1千円、ふれあいプラザ浄化槽設備の修繕など424万円、乳児保育の受け入れ体制を確保するため、米沢保育所の乳児室



増築予定の米沢保育所

増築に1242万円、農業委員及び推進委員報酬に440万6千円、常備消防委託料に472万7千円などです。その他の補正につきましては、歳入・歳出とも、事業費

審議の結果（第1回定例会）

件名	結果	賛否数
町長提出議案 ○数字は議案番号		
①町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部改正	原案可決	全員一致
②神崎町個人情報保護条例の一部改正	原案可決	全員一致
③神崎町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	原案可決	全員一致
④神崎町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全員一致
⑤神崎町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	全員一致
⑥神崎町介護保険条例の一部改正	原案可決	全員一致
⑦神崎町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決	全員一致
⑧平成29年度神崎町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	全員一致
⑨平成29年度神崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全員一致
⑩平成29年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全員一致
⑪平成29年度神崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
⑫平成30年度神崎町一般会計予算	原案可決	全員一致
⑬平成30年度神崎町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	全員一致
⑭平成30年度神崎町介護保険事業特別会計予算	原案可決	全員一致
⑮平成30年度神崎町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全員一致
⑯平成30年度神崎町水道事業会計予算	原案可決	全員一致
陳情 ○数字は陳情番号		
②「千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書」の提出に関する陳情	不採択	賛成少数
③住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情書	不採択	賛成少数

の確定に伴う減額が、主なものです。また、米沢保育所の乳児室増築は、年度内の完了が見込めないことにより、繰越明許費の設定をします。

万円とするものです。今回の補正は、国・県の負担金交付決定及び前年度繰越金の予算措置などに伴い、予算額を実績見込額に合わせて補正するものです。主な内容は、国保税の減収に伴う減額と繰越金の増額、また、新たに基金積立金を5千万円増額するものです。

◎平成29年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
既定予算に2170万円を追加し、総額を5億6147万円とするものです。主な内容は、介護給付費2354万円の増額と、歳入は、国、県等の負担金補助金の額が確定したための補正です。

◎平成29年度神崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
既定予算に370万円を追加し、総額を7450万円とするものです。主な内容は、歳入で保険料を370万円増額し、保険料分納付金370万円を増額するものです。

算（第2号）
康
保
險
事
業
特
別
会
計
補
正
予
算

既定予算に300万円を追加し、総額を9億4832

平成30年度会計別予算 (※1万円未満四捨五入)

会計	予算額
一般会計	24億9,800万円
国民健康保険事業特別会計	8億円
介護保険事業特別会計	5億4,000万円
後期高齢者医療特別会計	7,810万円
小計	39億1,610万円
水道事業会計(収益的収入)	2億2,168万円
水道事業会計(収益的支出)	2億 231万円
水道事業会計(資本的収入)	1万円
水道事業会計(資本的支出)	4,377万円

平成30年度の主な事業

(一般会計)	
・庁舎耐震補強事業(設計)	671万円
・移住・定住者支援事業	610万円
・高齢者見守り支援事業	210万円
・保育所入所児子育て助成金事業	1,010万円
・子ども医療費助成事業	1,991万円
・農業次世代人材投資資金	1,125万円
・親元就農支援事業	360万円
・町道成田神崎線整備事業	3,637万円
・防災ハザードマップ改定事業	138万円
・全国瞬時警報システム(Jアラート)更新事業	508万円
・学校給食費助成事業	2,010万円
・町民体育館耐震改修事業(設計)	1,157万円
(国民健康保険事業特別会計)	
・保険給付費(療養諸費、高額療養費)	5億4,813万円
・国保事業費納付金(県へ)	2億2,192万円
(介護保険事業特別会計)	
・保険給付費(介護サービス等諸費)	5億 51万円
・地域支援事業(介護予防等)	1,705万円
(後期高齢者医療特別会計)	
・後期高齢者医療広域連合納付金	7,338万円

平成30年度 一般会計ほか 4会計の予算を可決

平成30年度予算は3月7日に上程され、8日に総務文教常任委員会、12日にまちづくり厚生常任委員会で審査を行い、15日に各常任委員会

委員長による総括質問と討論、採決が行われて全て原案のとおり可決されました。

◎平成30年度一般会計予算

予算総額は24億9800万円、前年度比2600万円、1.1%増となりました。

◎平成30年度神崎町国民健康保険事業特別会計予算

予算総額は8億円で、前年度比1億3100万円、14.1%減となりました。

りました。これは、国民健康保険制度の改正(国保の広域化)により、各種交付金や拠出金がなくなったためです。

◎平成30年度神崎町介護保険事業特別会計予算

予算総額は5億4千万円で、前年度比2740万円、5.3%の増となりました。介護保険サービス利用者は、年々増加しており、保険給付費の中でも施設介護サービス給付費の伸びを見込みました。ま

た、地域包括支援センターでは介護予防のほか、高齢者の総合的な支援を行います。

◎平成30年度神崎町後期高齢者医療特別会計予算

予算総額は7810万円で、前年度比730万円、10.3%増となりました。これは、主な歳出である千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金が増加したためです。

◎平成30年度神崎町水道事業会計予算

水道事業会計は、収益的収入が2億2167万8千円、支出が2億231万4千円です。また資本的収支は、災害復旧事業が完了したことから、収入が1万1千円、支出が4376万6千円と大幅な減額となりました。不足する財源は損益勘定留保資金などで補填します。

総括質問

総務文教常任委員会



樫 等委員長

問 コンビニ収納の対象税目と内容(メリット)について説明してください。

答 対象税目は、たばこ税、法人町民税を除く、個人町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税及び介護保険料です。コンビニ収納は、24時間いつでも納付出来るのが最大のメリットです。

問 防災ハザードマップは以前作成しているが、今回はどのような内容のものを作成するのか。

答 防災ハザードマップは、洪水・内水、土砂災害、地震の3種類からなっているもので、現在のは平成22年3月に作成しました。その後、東日本大震災をはじめ台風や大

雨で、当町も被害を受けました。その経緯も考慮したハザードマップを作成する予定です。

また、国や県といった関係機関が公表している数値等も反映したものとなります。30年度は、データ作成を行い、町のホームページに公表し、31年度に紙ベースの成果物を作成し、町民に配布する予定です。



問 住民票等のコンビニ交付が始まったが、どのような手続きが必要なのか。また、現在までの交付実績はどのくらいなのか。

答 コンビニ交付には、マイナンバーカードが必要となります。マイナンバーカードの交付実績は、2月末時点で765枚(12.2%)となっています。

住民票等の交付実績は、昨年の12月18日の開始から2月末日までで、住民票11件、

印鑑証明書8件で、合計19件となっています。

問 プラマークの収集が始まったが、実績はどの位か。また、今後の見通しは。

答 平成29年4月から平成30年2月末までの収集量は、13,220kgで1回あたりの平均収集量は、601kgになります。

現在プラマークは、第2第4水曜日の月2回収集ですが、平成30年度から毎週水曜日収集に変更し、収集量の増加を図っていきたいと思います。

問 可燃ごみ袋(小)を作成予定だが、なぜ作成するのか。また、いつ頃から販売するのか。

答 平成29年4月から開始されたプラマークの分別収集により、家庭から搬出される可燃ごみが減り、既存の可燃ごみ袋の大きさでは余ってしまいうので、小さい袋を作製してほしいと町民から要望があったため、新規で25リットル相当の袋を作製するものです。

なお、販売は平成30年6月からを予定しております。

問 平成30年度からの広域

化で、町の国保の運営状況はどのようになるのか。メリットは何か。また、広域化により国保税は値上げされないのか。

答 国保の広域化は、県が財政運営の事業主体となり、安定的な国保運営について中心的な役割を担うこととなります。

広域化により、県は、国保事業費納付金を市町村ごとに決定し、市町村は県に納付することになります。メリットとしては、本町のような小規模自治体にとっては、財政の安定化が図れることです。

また、国保税の値上げについては、平成29年4月に値上げをさせてもらったばかりです。当面の間、値上げは考えておりません。



特定検診のようす

問 医療費削減のために、今後町としては、どのようなことを考えていますか。

答 医療費削減のためには、検診の受診率向上が必要で、そのために、効果的・効果的な保健事業を実践し、疾病の早期発見及び予防事業(特定健診・保険指導)に努めてまいります。

問 町民体育館(元米沢小体育館)の耐震改修をするようだが、改修して今後どのような使用を考えているのか。

答 町民体育館は、昭和51年に建設され、既に42年が経過しています。



町民体育館

平成26年度に耐震診断を実施したところ、屋根の重量が重いことから、耐震性能が不足していることがわかりました。平成30年度に実施設計、平成31年度に耐震改修工事を実施したいと考えております。

町民体育館の利用については、以前は、バレーボールや卓球、少年野球のトレーニングなどに使用していました。今後は、年齢的にも高齢化が進み、町民の健康意識が更に高まっていますので、使用内容については、町民のニーズにあった運動ができるよう、検討していきたいと考えております。

まちづくり厚生常任委員会



木内 直樹委員長

問 緊急通報システムとは、どのようなシステムで、何人くらいの人が利用しているのか。

答 ボタンを押すだけで、緊急事態を受信センターに通報する緊急通報装置を貸与することにより、一人暮らしの高齢者の急病及び災害時等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図ることを目的とするシステムで、町では大手の警備会社に業務を委託しています。また、平成29年度2月末現在の利用者は4人です。

問 子育てワンストップサービスの内容について説明してください。

答 「子育てワンストップサービス」とは、児童手当の現況届や保育所の入所申請等、自治体の子育てに関する行政サービスの手続きが、インターネットを活用して申請が行えるサービスで、昨年7月より運用が開始されました。国は今後も提供サービスの拡充を図る方針です。

電子申請の流れとしては、利用者(申請者)が、国のホームページから町のサイトに入り申請するということです。

問 介護保険予防事業とは、どのようなものか。

答 介護予防普及啓発事業とは、高齢者の生活機能全般

の改善を図り、日常生活動作の向上や社会活動への参加、生きがい・仲間作りを目的に



発酵カフェのようす

してまいります。

当町で実施している普及啓発事業は、元気あつぷ教室、ふれあい介護セミナー、介護食セミナー、介護予防相談会及びつるかめ料理教室です。

問 まち移住 定住奨励金について詳細を説明して下さい。

答 町総合戦略の推進事業の1つとして、神崎町に住宅を新築又は神崎町内に所在する住宅(中古)を購入した者等に対し、神崎町への移住

定住の促進を図ることを目的として、定住 移住奨励金を交付します。

神崎町に転入し5年以上居住する予定の者を対象に、住宅を所有し、住民登録をしてもらうことを条件とします。金額については、基礎額を50万円とし、39歳以下の者は20万円、18歳未満のお子さんがいる場合は1人につき5万円、新築で町内業者が施工したときは、20万円がそれぞれ加算されます。

問 今年の天の川公園水路浚渫工事は、どこまで計画しているのか。また今後の計画は。

答 平成29年度は天の川公園東端の神宿揚水機場から2本目の橋まで200メートルを浚渫しました。平成30年度は2本目の橋から芝生広場のトイレの前まで200メートルを計画しております。

東日本大震災から7年が経過しますが、その影響で川底から砂が噴出している状況が続いているため、今後も計画的に浚渫し、公園としての景観と幹線排水路の機能維持を図ってまいります。



天の川公園・浚渫工事

問 来年度の道路改良事業に係る国・県補助金の見通しはどうか。

答 来年度の交付金事業として通常の改良系で、8千万円を要望しております。

また、防災安全系で、2700万円の要望をしております。

通常の改良系につきましては、ここ数年の状況を見ますと、要望額の1/3〜1/4程度の交付となっております。

防災・安全系に関しては、重点的に配分されてはいるものの、本町には緊急に補修の必要な橋梁等がないため、4割程度の配分となっております。いずれにせよ要望額を満たせるよう引き続き強く要望していきます。

問 利根川から古原まで水を送っているが、何か問題点等は出ていないか。

答 利根川河川敷に本流から汲み上げる取水ポンプを設置し、神崎西部ライスセンター前の導水ポンプ場へ水を送っています。その後、導水ポンプ場にて機械で水質を確認し、水の臭いなどを取るための活性炭を投入し、ポンプで水圧をかけ、おおよそ2時間かけて古原の第二浄水場へ送っています。

今現在、これらによる大きな問題は出てはおりませんが、設備的には、高台である古原の第二浄水場へポンプで圧送するため、電力が必要となることや、導水ポンプ場のメンテナンスが必要となっており、2時間かけて送られてくることで、活性炭の接触時間が十分確保されるため、活性

炭の効能がより発揮され、快適な水道水を作るための効果が出ている状況です。



導水ポンプ場

討 論

反対なし

賛成 椿 等議員

平成30年度一般会計予算、3特別会計予算および水道事業会計予算について、賛成

の立場で討論を行います。

まず、平成30年度の一般会計当初予算の総額は、24億9800万円と前年比11%2600万円の増額となりました。予算編成にあつては、本年度も「ゼロベース積み上げ方式」とし、真に必要な経費とし、堅実な予算となっております。

歳入は、町税で固定資産税が減額となりますが、法人町民税の増額等により、37%2410万円の増額となっております。しかし、もう一つの歳入の柱である地方交付税は増減なしの8億9400万円を見込んでおり、昨年と比較し、大きな増減はありません。

歳出では、民生費で臨時福祉給付金がなくなつたことや、運営が県に統一される国民健康保険事業の繰出金等が減つたことにより、2958万円の減額となっております。商工費では、道の駅旧新鮮市場棟工事1980万円が減額となっております。しかし、消費税が成田市に委託している常備消防委託料で2529万円の増額となり、教育費が

町民体育館等の耐震改修事業等により、2290万円の増額となっておりますが、全体としては前年と大きな差異はありません。



町民体育館

り遅れることなく新しいものを作っていく必要があります。提示・配布するだけでなく、避難訓練や看板の設置等普段から住民に周知させる必要があります。非常に意義ある事業であります。

また、今までにない事業として、移住・定住者支援事業が今年度初めて予算計上されており、人口減が進む中注目される事業であります。

千葉県「小さな町」神崎ではありますが、他市町に先駆けて行ってきた、子育て支援や高齢者対策に加えて、こうした新しい事業は厳しい財政状況の中ではあるが、安心で安全な住みやすい神崎町となり、人口減対策にも繋がるものと考えられ、適切な予算であります。

本年度は新規事業として、地震などの災害対策として庁舎の耐震補強事業、防災ハザードマップ改定事業、全国瞬時警報システム更新事業、町民体育館耐震改修事業などが予定され、町民の安全安心を確保するための重要な事業となっております。特にハザードマップ改定事業においては、時代の要請として、国・県が災害に対する備えを進化させている中、町においても乗

特別会計の国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療、また公営企業会計の水道事業においても特に問題もなく、限られた財源の中で、無駄を省き、健全財政を維持しつつ、神崎町の未来を考え、時代に即した予算であり、大変評価されるものであり、賛成します。

大雪対策について

石橋伸一 議員



問 1月22日の大雪について、雪による被害はありましたか。

総務課長 建物、ハウス、農作物等の被害はありませんでした。

問 除雪について、各地区から依頼はありましたか。

まちづくり課主幹 区長から1件、住民の方から12件ありました。

問 小学校・中学校ではどのような対応をとりましたか。

教育課長 警報が出ておりましたので、休校にさせていただきますました。

問 町では除雪できる車両は用意してありますか。

まちづくり課主幹 除雪用ではないが、ホイールローダーが

1台用意してあります。



除雪に使用するホイールローダー

問 道路管理を委託している業者はありますか。

まちづくり課主幹 年度当初に、土木作業委託として年間契約を町内の建設業者1社と契約を結んでいます。1社で対応し切れない時は、町内の建設業者2社と連携を取りながら進めています。

問 今回、除雪にかかった経費はどの位ですか。

まちづくり課主幹 作業として80万円、融雪剤、材料費の

購入で約30万円、合わせて110万円ほどの経費がかかっています。

問 除雪対応の道路は、どのようになっていますか。

まちづくり課主幹 国・県道の基幹道路は、優先的に県のほうで行います。町道については、1・2級の幹線町道で交通量や歩行者が多い所や、坂道やカーブなど危険な箇所を優先的に、除雪を実施しています。

今回、重機やトラクターの所有者が、ボランティアで道路や小学校の除雪をしていただきました。町でもできる範囲には限界がありますので、地域の方の協力をいただければと思います。

農業対策について

問 平成30年度より米の生産調整（減反）が廃止されるが、町ではどのような対応を取りますか。

まちづくり課長 千葉県では、生産数量目標にかわる生産目安がされます。町では、各農業者の方に生産目安を通知します。

転作のほうは、引き続き生産者に通知をします。

問 小規模経営の農家に対する補助金などの対策は考えられますか。

まちづくり課長 小規模農家を対象とした機械設備等の補助金は、今のところ考えてはいませんが、本年度予算で道の駅の葉物野菜の地元出品者を増やす目的で一部、機械の補助を検討しています。



田植えのようす

問 新規就農者は、現在何名位いますか。

まちづくり課長 3組の夫婦と2人の個人です。内容は、水稲、雑穀が1件、路地野菜が3件、イチゴが1

件です。平成30年度もイチゴの新規就農が予定されています。



道の駅 イチゴハウス

問 新規就農者の補助金の状況は、どのようになっていますか。

まちづくり課長 新規就農5年間の交付期間ですが、今のところ打ち切られた方はいません。収益が上がって、期限前に補助金の交付限度額に到達する方もいます。

補助金が終わった後、町の認定農業者になつていただき、制度資金・補助事業等の支援を継続して受けられるような環境づくりをしたいと考えています。

国保の子どもの均等割

減免で子育て支援を！

鈴木節子
議員



町民課長 2月の県議会において同様の質問があつたとは聞いていますが、その他のところは今後研究していきたいと思ひます。

問 人口11万人余のふじみ野市でも、対象人数は203人で、経費は733万円です。神崎町でこれ以上になるとは思へない。

子ども達が増えてほしいという願ひに沿つた政策ではないか。神崎町も近隣に先がけて決断してほしい。

町民課長 これは国が責任をもつて対応するもので、現時点では研究はするが、検討までは至つておりません。

県道成田神崎線の完成はいつになるのか

問 工事の進捗状況、何%ぐらい出来ているのか。

まちづくり課主幹 用地買収は75%まで本年度末に完了予定です。

工事は成田市と共同で、本年度は雨水の排水流末の排水路の整備工事です。



成田神崎線・予定地

問 循環バスも植房部分が心配で、運転手が引き受けにくいのでは。成田神崎線の日も早い完成に努力を。

まちづくり課主幹 町としても早く開通させたいと考えています。

問 始めの完成予定から10年も過ぎようとしている。本当の完成の見込みは。

まちづくり課主幹 国の交付金事業で概ね5年で完了の目的で必要額を要望しているが、新設よりも老朽化対策のほうが重点で、予算配分が

大きく減少し、計画は先送りになっています。

問 早くなるよう町はどういう働きかけをしているか。

まちづくり課主幹 成田市と二緒の整備期成同盟が県・国へ陳情を続けています。

問 他市の教育委員会で開設しているサタデースクールなど神崎町での要望は。

教育問題について

問 就学援助で、国が決められている支援項目のうち、神崎町での支援について、体育実技用具は。

教育課長 やつていません。

問 自転車など通学用品は。

教育課長 新入学児童・生徒学用品費として支給しています。

問 生徒会費PTA会費は。

教育課長 支給している市町村は少なく、神崎町も支給は考えておりません。

問 修学旅行費や校外活動費についてはどうか。

教育課長 修学旅行費は支給しています。校外活動費は、宿泊を伴うものも伴わないものも実費負担金を県の単価と同金額で支給しています。



子ども教室(英会話)のようす

問 学校の先生方の労働過重になる。負担を減らす形にしていくべきではないか。

教育課長 昨年から部活動の指導、登下校や学習支援などのボランティアを募集中です。登録してある人に、学校からお願いするというところで、先生方の負担を減らすよう努力しているところで

議会の動き

2 月

- 5日 県道成田神崎線整備促進期成同盟視察(宝田議長、まちづくり厚生委員)
- 8日 香取広域市町村圏事務組合定例会(宝田議長、成毛議員)
- 9日 香取郡市町議会議長会・議長・副議長・事務局長合同会議(宝田議長、石橋副議長)
- 11日 成田市消防出初め式(宝田議長)
- 14日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会(石井議員)
- 15日 成田空港騒音対策委員会香取・神崎地区部会(宝田議長)
- 20日 千葉県町村議会議長会定例会・政務研究会(宝田議長)

3 月

- 1日 議会運営委員会、全員協議会
- 7日 第1回定例会(第1日)
- 8日 総務文教常任委員会
- 12日 まちづくり厚生常任委員会
- 15日 第1回定例会(第2日)
- 16日 第1回定例会(第3日)
- 28日 議会広報編集特別委員会

4 月

- 14日 香取神宮の例祭(宝田議長)
- 18日 議会広報編集特別委員会

2月8日に、平成30年3月定例会が香取市山田支所議場において開催され、本町から、石橋町長、宝田議長、成毛議員が出席しました。当日は、6議案が審議され、いずれも原案のとおり可決・同意



成毛 績議員

香取広域市町村圏事務組合議会(抜粋)

北総斎場の老朽化に伴う電気設備工事費等については、大幅な増額になっています。また、平成29年度一般会計補正予算は、既定予算に1239万3千円を増額し、総額を42億2363万5千円と

されました。平成30年度一般会計予算は、総額41億1515万8千円で、前年度と比較して8689万8千円、2.1%の減となつております。減額の主な要因は、長岡のリサイクル施設工事が完了し工事請負費が減額になった事ですが、一方伊地山の可燃施設の定期整備補修工事や



石井正夫議員

千葉県後期高齢者医療広域連合議会(抜粋)

平成30年度一般会計予算は、総額を21億9186万9千円とするものです。市町村負担金を主な歳入として、広域連合の運営に必要な基本的経費である一般事務費、職員人件費及び議会費などを歳出として計上しています。前年比で8769万8千円の増となっています。

2月14日に、平成30年第1回定例会がオークラ千葉ホテルで開催され、石井議員が出席しました。冒頭、2月1日付で新しい議長に、富津市選出の平野議員が選出され承認されました。定例会では、条例の一部改正、平成29年度補正予算及び平成30年度の一般会計、特別会計予算など11議案が審議され、すべて原案のとおり可決されました。

平成30年度特別会計予算は、総額を6107億8508万8千円とするもので、療養給付費を主な歳出としており、保険者の増加による医療給付費の増加で、前年度比で283億1661万4千円の増となっています。

編集後記

新緑の息吹を迎え、心地よい季節になりました。

水田には、水が張られ、鏡の様に綺麗な風景が心を癒します。

田植えを終えた人も有るでしょう。これからの方は、もうひと頑張りですね。緑のジュータンに、そして実り多き稲穂が出来る日が待ち遠しくなるのでは。

学校では、新学期が始まり、元気な声が響き、子育て支援の充実と合わせ、すくすくと育つていつかはいいものです。

また、酒蔵祭りでの賑わいや道の駅の繁盛ぶりも、この町の元気の源になつていのではないかと思います。

私達も、生活の安定と住みよい町づくりを目指して、これからも頑張つてまいります。

大竹 英夫